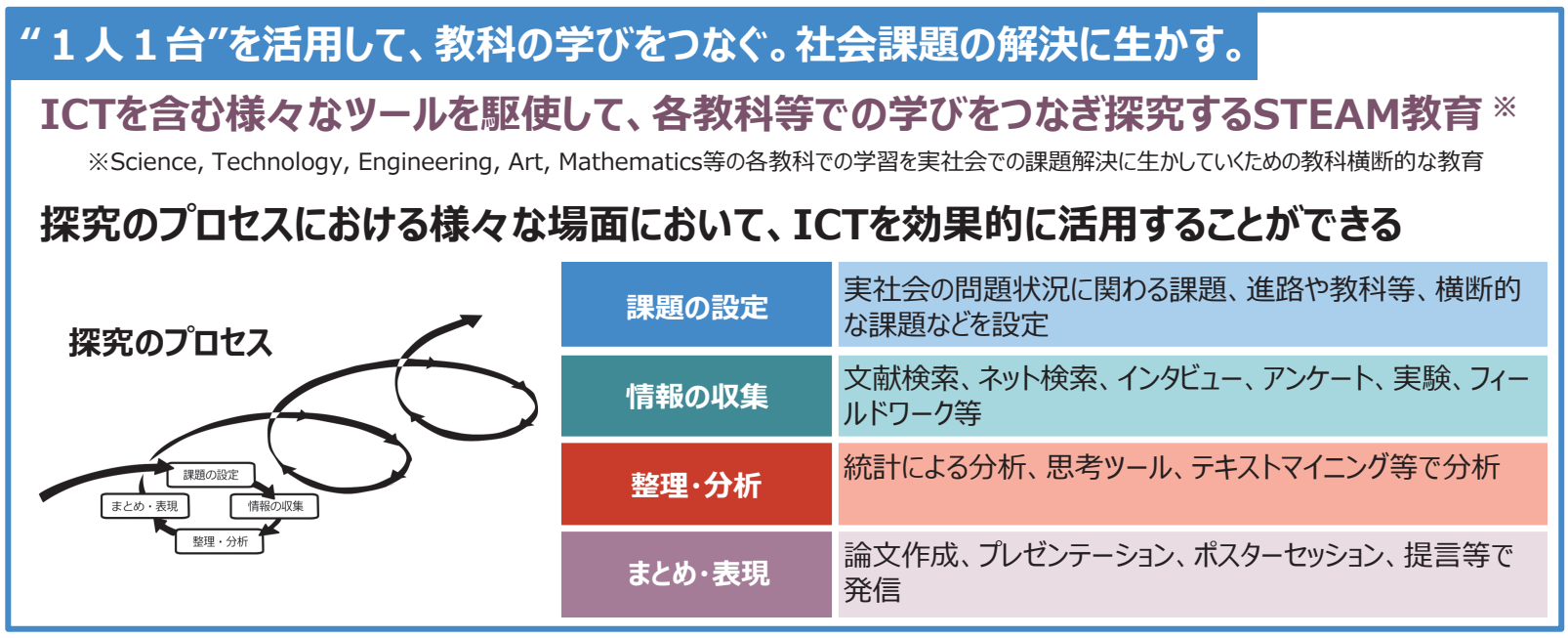
令和４年度　和歌山大学大学院教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）

入学試験問題・解答用紙　［小論文］（3 枚の内の 1）

受験番号	

コ　ー　ス：学校改善マネジメントコース

※



問題：上に示した資料は、2020 年 6 月に文部科学省によって示されたリーフレット「GIGA スクール構想の実現へ」からの抜粋である。同資料によれば、GIGA スクール構想とは「１人１台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する。」さらに「これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す」こととされている。

この資料を見て、学校として今後どのような取り組みが考えられるか、1200 字程度で具体的に述べなさい。

解答

200

令和４年度　和歌山大学大学院教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）

第一次入学試験問題［小論文］解答例・出題の意図

コ　ー　ス：学校改善マネジメントコース・スペシャリストコース

【出題の意図】

本問は、2020 年 6 月に文部科学省によって示されたリーフレット「GIGA スクール構想の実現へ」を元に、学校教育の ICT 化推進を軸とする所謂「GIGA スクール構想」に関する理解を問うとともに、昨年来のコロナ禍の中において、こうした方向性に基づいた教育実践を客観的に分析し、かつ今後の方向性に関する展望を問う問題である。ここにおいて期待される内容としては、①「GIGA スクール構想」に関し、その趣旨を的確に把握しているか　②既に進んでいる機器の配備、及びそれらの活用に関する学校の対応について主体性をもって認識しているか　③今後の効果的活用に向けて、適切な展望を描けるか、等である。